



HONDA®

Hマークのホンダエンブレムは、つねに先進のFFフォリティア・カーをおとすける、世界のホンダのニュー・アイデンティティです。

CITY



シティは、ニュー



ライヴ・ビークル
「シティ」
誕生。

スにあふれてる。



TYPE-R アルミホイールはオプションです。

シティは、ニュースにあふれています。毎日毎日ドラマがいっぱい用意されています。これからは、もっと自分のネットワークを広げからだごとライブに生きる時代です。ホンダは、そんな新しい発想から、これからのシティライフのベースとなる、未来のピークルを誕生させました。それがライブ・ピークル「シティ」。つねにアンテナをはりめぐらせ、時代にピンピン反応する人たちに、オリジナルな発想で使いこなしてほしい、ホンダのニューコンセプトです。

パワーがみなぎり、小型・軽量です。
 世界初の圧縮比「10」をもたらし
 専用エンジン、
シティは、コンボックス。



ただ脚光をあびるだけなら、ユニークなスタイリングだけで充分でした。けれどシティが未来のビークルであるためには、性能じたいが未来でなければならなかったのです。コンボックスはこうした要請から、その驚くべき性能を、ついに小型・軽量のなかで成しとげたのです。

時代のターゲットになった
新エンジン「コンボックス」。
 世界のエンジン技術は、どこまで燃費をよくし、どこまで走りを俊敏にできるかの1点に向かっています。ホンダはこのテーマを「高密度速炎燃焼原理」で実現。高密度・高圧縮という次代の方向をまっ先に踏み出しました。

少ないガソリンで最大のパワーを。
世界初の圧縮比「10」。
※無鉛ガソリン車

クルマの走行状況に応じ、つねに最良の混合気を送り出すラピッドレスポンス・コントロールシステムと、これを瞬時に燃やせるセンタートーチ燃焼室を結合させ、走りも低燃費を高いレベルで実現させたのが、あのCVCC-IIでした。コンボックスは、これをベースとしながらも、いちだんと燃焼効率の向上をはかるため、新ファンネル型燃焼室を採用。燃焼室のスロープを丁度ジョーゴのような形にすることで、高圧縮下でも火炎が超スピードで伝わるためノッキングを起こさず瞬時に燃やされるのです。この高密度速炎燃焼原理を理想的に実現するため、超ロングストロークとし、世界初の圧縮比「10」(※無鉛車)を可能にしました。

10.0kg-m/3500rpm **67**PS/5500rpm
① 型式E-AA 5速 ② 型式E-AA 5速

パワーをいかにロスなく伝えるか。
機械効率もいいコンボックス。
 高圧縮・高密度による大きなパワーも、伝達にムダが多いと効果は下がります。その最大のカギが、ピストン/クランク系。コンボックスはスモールボアで、爆発圧が高くてもフリクションが最小になるよう、設計されています。

ムダなガソリンは少しでも節約。
独自のシステムを採用。
 たとえば減速時やアイドル時は、本来がガソリンをあまり必要としないもの。そこで減速時には吸気2次エアシステムを、アイドル時にはスロットル開度コントロールシステムを、それぞれ採用することにより、スロットル全閉時の燃料を最小にしています。

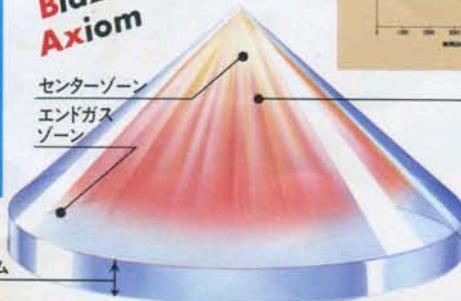
スペース節約にもつながった
直下型キャタライザー。
 燃焼効率が上がるほど排気ガス温度が下がり、キャタライザーの浄化性能が落ちるため、エキゾーストマニホールドのすぐ下に配置。低燃費化を支え、室内の余裕も生まれました。

エキサイティングな走りも
国産小型車第1位の低燃費。
軽のぞい
 からだにピンピン感じるエキサイティングランを身につけながら、シティは、飛躍的な燃焼効率を生んだコンボックスの採用とボディの徹底した軽量化やトータルエアロダイナミクスにより、低燃費も極めました。また、耐久性の高いメンテナンス部品を採用。トータルエコノミーを追求しています。

19.0 km/ℓ **29.0** km/ℓ
10モード燃料消費率 運輸省審査値 ① 型式E-AA 5速
 60km/h時燃料消費率 運輸省審査値 ② 型式E-AA 5速
 高さ方向のボリューム

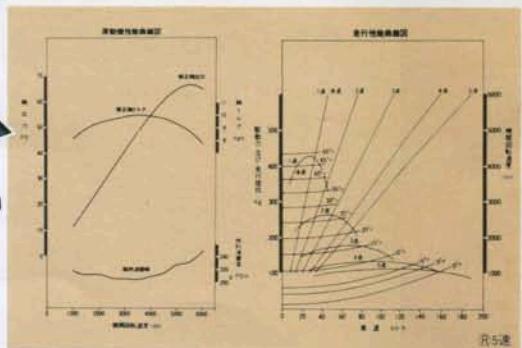


Compact Blazing Combustion Axiom



センターゾーン
 エンドガスゾーン

新ファンネル型燃焼室
 燃焼室を、従来のウェッジ型や半球型ではなく、ジョーゴ型にすることで、エンドガスゾーンに十分なボリュームが生まれ、燃焼室のセンターゾーンとエンドガスゾーンがスロープ状に最短距離で結ばれるため、超速度の火炎がスピードをゆるめることなくエンドガスまで一気に燃やしてしまいます。そのため高圧縮下によるエンドガスゾーンの自己着火によるノッキングもありません。





TYPE-R

風を友として走る、
トータルエアロダイナミクス。
走るほどに路面に吸いつく、
シティは、ゼロリフト。



シティは、いかにも空気に優れていそうなスタイリングではありません。むしろ逆をいった、超ノッポのトールボーイデザイン。ここに従来の概念を捨て去ったホンダの新しい発想があります。スポーツカーの舌を巻かせるトータルエアロダイナミクス、走りだせばわかります。

TOTAL AERODYNAMICS



フラッシュサーフェスボディ。

どの角度からでも眺めてみてください。シティがいかに段差や突起の少ないなめらかなクルマかがわかります。風を友とするためのボディ全体にわたる徹底した工夫。Cl・Cdだけでなく実用空力を高め、風切音を軽減しました。

- 段差のない接着ウインドウ/このクラスで初めてフラッシュマウントグラス(FMG)を採用。可能なかぎり、なめらかにしました。
- センターピラー内蔵ウインドウ/ピラーをガラスの内側にセットし、ボディの横を流れる風を、よりなめらかに後方へ逃がします。
- フラッシュドアハンドル/空力に寄与しながら、使いやすさとスマートさを演出。ボディ全体で金属メッキは、ドアの鍵穴だけです。
- スカート一体成型バンパー/Cl・Cdに寄与した樹脂一体成型大型バンパーとスカート。リアスカートは下部の風の流れを整えます。
- 風を上へ、エアスクープグリル/前方からの風を上方へ逃がし、風圧によるワイパーの浮き上がりや、水の這い上がりを防ぎます。

空力はトータルに語られるべき。
トータルエアロダイナミクス。

いままでの空力性能は、単にCd(抗力係数)の値のみで語られてきました。しかし実際は、Cl(揚力係数)、Cym(ヨーイングモーメント係数)も含めた、前後・上下・左右のトータルな空力性能こそが、走りの実力を決定づけるものです。シティは、そのいずれをも極め、トールボーイでありながらスピードを増すにつれて、路面を這うように快走。高速での伸びがよく、コーナリングも絶妙です。低燃費にも大きく寄与した、新しいトータルエアロダイナミクスをつくりあげました。



揚力係数Cl=0「ゼロリフト」

シティは、フロントとリアがほぼ0に近く、トータルで国産車で初めてCl=0を達成した、ゼロリフト。エアロスロープやフロントスカート、さらにホップアップルーフなどの採用により、浮き上がろうとする揚力をおさえ、安定した走りを実現しました。
*フロントCl.F=0.05
リアCl.R=-0.05

抗力係数Co=0.40

Coだけを見ても、シティはこのクラスでトップレベル。全体に凹凸の少ないフラッシュサーフェスボディが見事に風を味方しました。ヨーイングモーメント係数Cym=0.02(ヨーアン)
本来が横風に強いFFです。しかも空力の中心点とボディの重心点がきわめて近いところにある、安定性に優れた設計となっています。



■新感覚フラッシュパネルグリル/実用空力を高めた左右が非対称の新しい構造。グリルとライト類が同一面上にありCl・Cdを向上。

フットワークは
フォーメーションから生まれます。
だれが駆けても、
シティは、スポーツマン。



TYPE-B

クルマの動きは、ひとつの流れのなかで考えるべきです。いかに走り、いかに曲がり、いかに止まるか。この連続した動きを、アクセルワークに、ハンドリングに、ブレーキングに、まったく新しい発想で高度にシステム化しています。だから、だれが駆けても「超」のつく走りなのです。

CRUISING

ホンダだから
走りの完成度が違う。
FF+四輪独立懸架+
ワイドトレッド。

前輪を駆動して走行するFF。直進安定性にきわめて優れ、ハンドルを切った方向に素直に駆動力が働くため走破力が高く、つねに力強い走りを発揮してくれます。またプロペラシャフトによる出っばりのないフロアが室内全体に余裕を生むと同時に軽量化できるため、経済性にも優れています。これに加えパワーと低燃費とを両立

コイルスプリング分離式
ストラット方式リアサスペンション



A型ロアアームのブッシュバインを充分にとることにより、前後、左右などから発生する力に対し、トー剛性をあげることができ、素晴らしい走行安定性を実現しています。

コイルスプリングとダンパーを分けることにより、ダンパーマウントのクォーターにスプリングによる反力が発生しないため、マウントラバーのばねレートセッティングに自由度が増え、乗り心地が向上しています。

高い走行安定性、直進性を実現。
遅い前後サスペンション。

シティは、どんな道路状況の変化にあっても、つねにスポーティな運転感覚をもたらすストラット方式の前後サスペンションです。とくにリアは、フロアと新しいA型のロアアームの間にスプリングを、タイヤ側にダンパーを分けてセットしたユニークなコイルスプリング分離式ストラット方式サスペンションです。高い走行安定性と快適な乗り心地を実現しています。この方式はショックをなめらかに吸収する特性があり、(E)PROには優れた効果をより高めるプログレッシブコイルを採用。これらはまた室内の余裕にもつながっています。

プログレッシブコイルスプリング。

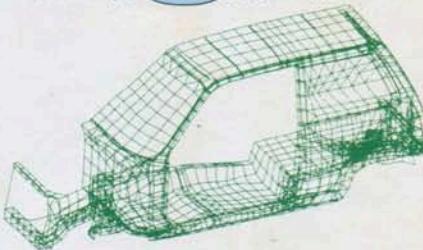
コイル上部のスプリング径が太く、下部になるにつれ、細くなっています。これによりばねレートが一定でなく、小さなショックは細い部分で、大きなショックは太い部分でムリなく吸収。全体をコンパクトにでき、快適な乗り心地ももたらす合理的なシステム。(E)PRO

走りに徹した(8)のハードサス。

キビキビとした身のこなし、そしてシャープなコーナリング性能を得るため、レベルの高いサスペンションにぴたりマッチしたダンパーを装備しました。さらに(8)では、いちだんと減衰力を高めたダンパー、ハードタイプのサスペンション、そしてリアにスタビライザーを装備するなど、走りの機能を徹底させました。

ムダな筋肉を排した軽量ボディ。

FFは、プロペラシャフトがないなど軽量です。しかもシティは、エンジンの小型、軽量化、高張力鋼の採用、接着ウインドウや新機構のサスペンションシステムをはじめとして、樹脂一体成型バンパー、軽量ドアなどにより、大幅な軽量化を図っています。このため走りも軽快で、経済的なのです。もちろん高剛性モノコックボディで (SAFETY) 衝撃吸収構造です。



CORNERING

FF車の常識をくつがえした

最小回転半径、わずか4.5m。

ホンダオリジナルの等速ジョイントを採用。その性能を最大限に生かし、FF小型車で軽なみの、最小回転半径4.5mを実現しました。

4.5m



- 超軽量スチールホイールディスク/コンピュータがデザインしました。キビキビした走りです。
- シャープなラック&ピニオン式ステアリング。

BRAKING

スポーティ走行時も頼もしい
サーボ付ブレーキシステム。

- 前輪は耐フェード性の高いディスクブレーキ、後輪は安定性あるドラムブレーキです。(8)(9)にはブレーキサーボ(油圧真空倍力装置)を採用。軽い踏力で制動できます。
- ディスクブレーキのシューに、このクラス初めてのセミメタルパッドを採用。高温域での耐磨耗性に優れています。標準装備です。
- ブレーキシステムは、右前と左後系、左前と右後系に分かれたX字型2系統式。
- 新しいタイプの145 SR 12サイズのスチールラジアルを新開発、(8)に装着しました。また(9)には165/70 SR 12というワイドなタイヤを装着。ダイナミックな走りを実現しました。



HONDAMATIC

ライブなシティにふさわしい
人気のオーバードライブ付ホンダマチック。
力強い先進の(10)レンジ、5速車なみの経済性と静粛性を発揮する(10)オーバードライブレンジ、そしてアクセルを踏み込むだけで一般走行からラフロードまで、無段変速の遅いクルージングを楽しめる(10)スターレンジと、3つのレンジの使いわけて、よりスポーティに、よりスムーズに、シティらしい走りが楽しめます。



空間利用を徹底すると、
 トールボーイです。
 ポケットテリアです。
シティは、アイデアフル。

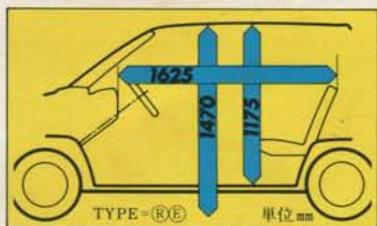


TYPE=E

シティは、広さをシステムでとらえました。都市交通にふさわしい小さなサイズを設定した上で、まず空間のムダを省き、さらに広さを求めた結果、高さが最大のヒントとなりました。これがトールボーイ。またシティはなんと16コのポケットをもつポケットテリア。すべてに非凡です。

コンセプトは、機構最小・機能最大。
余裕のスペース。

シティはインテリアデザインを超えたスペースデザイン。空間設計のあり方を追求した、広々とした室内です。まず限られたサイズにさらに広さを求めた結果、高さという斬新な視点が生まれました。しかも高さで得られた広さだけにとどまらず、可能な限りスペースの有効利用



を図っています。この立体としてのシステム化された考え方がビッグな室内空間を実現しました。また見た眼にもより広く感じる工夫もしています。もちろんFFのメリットが生きているのは言うまでもありません。

広い室内をより広く、明るく。
快適なローバックシート。

シートバック上部を思いきって下げ、室内にルーミーな広がりを生むと同時に、下部に空間を設け通風性を高めました。肩あたりが少なく動きもスムーズで快適です。人間工学的にも考えられたやや固めのシートは、しっかりからだをサポートするバケットタイプ。アクティブなドライバーが楽しめます。



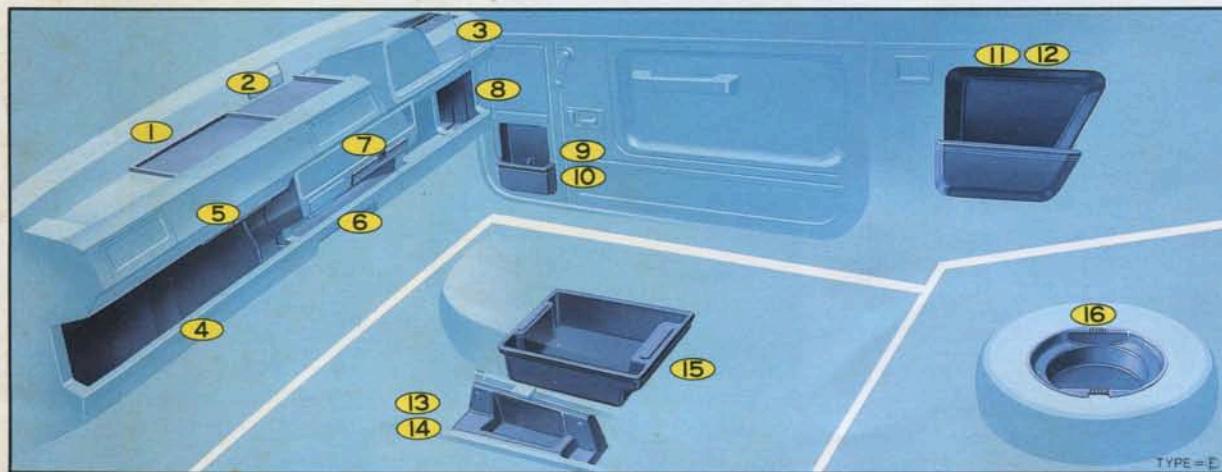
- 新アイデアのヘッドレストステー/シートバックと一体構造。表面を樹脂カバーしました。
- 大口径16センチスピーカー/左右のドアにセット。音像、音質がクリアです。OPTION
- 操作が簡単なヒーターコントロールパネル
- 機能的で美しい、樹脂一体成型のライニング
- 爽やかな内外気切り換え式ベンチレーション



クールポケットもある、16コのポケット。
ライヴに使える、ポケットテリア。

① アイスボックスがわりにお使いください。エアコンをセットすればなんとクールポケットに。缶コーラなら4本を冷やせます。シティ

- ならスポーツのあと冷たいタオルが使えます。
- ② メモに便利、デスクタイプのワイドトレイ。
- ③ 必要な小物が置けるドライバー専用トレイ。
- ④ ハンドバッグOK、大型アシスタントポケット。
- ⑤ 整備マニュアルなどが整理できる車検証入れ。
- ⑥ タバコやハンカチを。センターポケット。
- ⑦ チケットやライセンスが入るミニポケット。
- ⑧ 大切なカメラなどを。ドライバー専用ポケット。
- ⑨⑩ カセットならば7本入るドアポケット。
- ⑪⑫ 後席の人のためのリアサイドポケット。
- ⑬⑭ 小物が整理できるシートサイドポケット。E
- ⑮ じつにビッグ大型シートアンダーポケット。E
- ⑯ チェーンが収まるスペアタイヤバケット。E





はじめて出会った、
 高めのドライビングポジションです。
 ダイレクとなフィーリングの
シティは、見下ろし運転感覚。

いつもと違った、ちょっと高い所からものを見してみる。すると、視界がぐっと広がり、新鮮な風景がとび込んできます。この考え方が、ドライビングポジションの高いシティの“見下ろし運転感覚”。からだ全体で走りを感じます。アクティブです。ダイレクトです。初めてです。



まったく新しいドライブフィーリング。
ライブな見下ろし運転感覚。
 高さに十分な余裕のある、トルボイデザインにより、いままでの乗用車では考えられなかった新しい位置、ちょっと高めのドライビングポジションを実現しました。道路を見下ろす位置でのドライビングはとりまわしがよく、すべてがダイレクト。視界が広いぶんだけ全身で走り集中でき、安心感も高まります。

明るく、ワイドな前後左右の視界。
 シティは、優れたボディ構造とデザインにより、じつに大きなガラス面積をとることに成功。同時に曲面ガラスの採用で、広々とした視界を実現しました。スラントしたボンネット

は、ワイドなフロントウィンドウからの視界を一層良好にしています。眼の位置が高いたけ見通しがよく、接着ウィンドウ細いピラーなどにより、死角も最小限におさえた、ムダのない **SAFETY** 視界です。



機能美のインストルメントパネル。
 必要な部分をソフトパッドで被い、しかも見た目にも圧迫感のない広々としたインストルメントパネルです。運転する人としていない人を区別し、運転席には運転に必要な機能と情報を集中。助手席は実用性を重視した便利な設計となっています。また、計算されたボディデザインとカーブしたフロントウィンドウにより、インパネの上部をデスクタイプとしました。

見るからにスポーティな感覚。
小径、太グリップステアリング。
 グリップが太く、手にしっくりとなじみ、機能的でシンプル。しかも直径が370mmとモデルサイズです。クイックなハンドリングが楽しめます。もちろん **SAFETY** 衝撃吸収式。
 ■スポーツ走行に/フットレスト タイトコーナーやラフロードでからだを支えるフットレスト。足を置きやすい位置にセットしました。®



■透過光メーター&各種警告灯/目を向けた瞬間に直読できるシンプルなメーター(®はタコメーター付)の中に各種警告灯もセット。

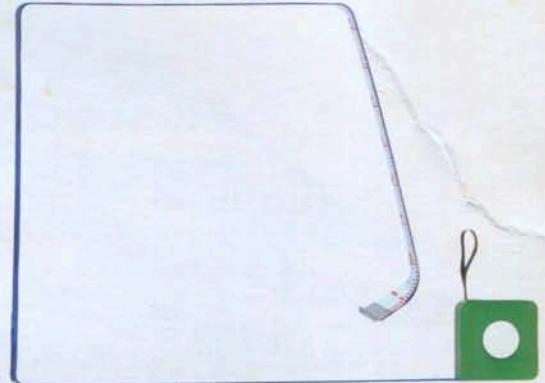
■ボンネットオープナー/インストルメントパネル内蔵式。指をかけ、レバーを軽く引くだけでボンネットロックが解除される機構です。
 ■触れるだけで選局、AM電子チューナーラジオ/スリムな超薄型。5局までプリセットでき感度も2段に切り換えられます。 **OPTION**



こんなワンルームが
ぜひぜひほしかったのです。
遊びがそのまま入る。
シティは、フリーサイズ。



TYPE=E アルミホイールはオプションです。



どんな遊びにも、目に見える決まったサイズがあるわけではありません。楽しみ方ひとつでそのスケールはどんどん大きくなります。だからクルマには、遊びをアレンジできる広さと、遊びのアイデアを生かせる空間がほしかったのです。つくりがユースフル、そこに夢が広がります。



**完全なフラットタイプ。
196Qの大容量ラゲッジスペース。**

※ECE基準によるホンダ方式測定値
優れた基本設計から生まれた、ワイドな開口部をもつ広々としたラゲッジスペースです。新しいリアサスペンションの採用で出っばりもわずか。実用度は抜群です。また荷物をしっかり固定して運べる、アンカーナット付です。

使うほどに便利な
シリコン付テールゲートハンドル。
テールゲートをひんばんに開け閉めする場合に便利。そのつどロックを解除する必要がありません。ドアと同様に使いこなせます。もちろんノブを押せばロックすることができます。

アイデアあふれる収納スペース。
ラゲッジスペースを徹底して広く使うため、緊急用三角リフレクターやジャッキ類をボディの内側に内蔵できるようにしました。広いスペースをさらに余裕のあるものとしています。



スルスルッと巻きとり。
ラゲッジルームカバー。
軽くひき出すだけでラゲッジスペースをフルカバー。他の人から中を見られたくない時など便利です。フックをはずせば自動的に巻きあげ、開けられます。簡単装着式。 **OPTION**



5WAY リアシート

1 遠くのリゾート地へ出かける時などは、シートをいちばん後の位置にセット。リラックスしてどうぞ。
⑤ 容量120ℓ*



2 5人がゆったりとクルージングできる、人間中心の快適な位置。遊びの道具もたっぷり運べます。
⑤ 容量148ℓ*

3 プレイの道具がちよっと増えたら、この位置で。広々とした十分なラゲッジスペースを確保しています。
⑤ ⑥ ⑦ 容量196ℓ*



4 ワンアクションでビッグスペースに早がり。フロントシートをリクライニングしたままでもOKです。
⑤ ⑥

⑤ 前に倒したシートを、直立させればフルフラットのマルチユーススペースが出現。より速くへどうぞ。
⑤ ⑥ ⑦ 容量472ℓ*



容量は形で測定。

機能がデザインになりました。
親友みたいに
つきあうほどに愛着のわく、
シティは、フレンドシップ。



TYPE-B

どんな素敵な友だちだって、どこかでしっかり共感しあっていなければ、つきあいも短かく終わるもの。走るたび、触れるたび、眺めるたび、一つ一つの部分がさりげなくワカッテルナと思わせる、いい存在。シティは、乗る人とクルマがお互いに触発される、数少ないクルマです。



気軽にエンジンルームをのぞける
可倒式フロントグリル。
精巧なメカニズムを満載したエンジンルームのサービス性向上のため、ボンネットを後ヒンジに、また、前方に倒れる可倒式フロントグリルも採用。メンテナンスなどが簡単にできます。

歩くスピードくらいの接触なら大丈夫。
すぐに復元する弾性バンパー。
車庫入れや駐車などの低速時、うっかりバンパーを接触させてしまっても、クルマに傷をつけず、ゴムマリのようすぐに復元する弾性バンパーを、前後に採用。ポリプロピレンで一体成型した、軽量の新しいバンパーです。



キリリとボディをひきしめる
ストーンガード&サイドプロテクター。
前輪がはねあげた小石などから、リアのフェンダー部分を保護する、黒い樹脂性のストーンガードを装備しました。⑧ またサイドプロテクターが、軽い接触からドアやボディを守ります。⑨⑩(とくに、⑩はワイドタイプです。)



■新形状デュアルステアフェンダーミラー／見た目にも精悍なブラックタイプ。ステアは2本の新しい型です。広い後方視界を確保します。シティの新デザイン。
■丸型ヘッドライト／配光性の面からも、最も効率の良い丸型のヘッドライトに、アクセントをつけています。
■被視認性のよいサイドマーカー／ちょっとユーモラスな、だ円型です。

■大型リアコンビネーションランプ／ターニングシグナル、バックアップランプなどをタテ型に美しくまとめました。サイズも大型で、サイドにまわり込み、被視認性を高めています。
■マッドガード&フィン付バンパースカート／リアバンパーの両サイドが下方にやや出しマッドガードの役目を果たします。また一体成型のフィンが下方の風の流れを整えます。



室内はいつも爽やかに
リアクォーター・ルーバー
ベンチレーションの効率を高めるため、大型のエアアウトレットを、リアビラゲーターニッシュの中に組み込みました。(PRO)はボディ色です。また、ドアハンドルからワイパーに至るまで、ブラックのトーンでシャープにまとめました。



シティならではのアイデア
ウインドウウォッシャータンク。
シティは、ウォッシャー液を外部から補充できます。しかも前後のウインドウに1つのタンクから供給⑪でき、さらに、外から残量をチェックできる機能までもそなえています。
■リアワイパー&電熱線入りリアウインドウデフォグガー／払拭面積の大きなワイパー⑫は、ウォッシャー付。また電熱線入りリアウインドウデフォグガー⑬⑭が曇りを取りのぞきます。
■大型インナーフェンダー／タイヤハウス内側を先端部まで樹脂でカバー。錆びを防ぎます。



さまざまなシーンにフィット。
ニューデザインのアルミホイール。
走りに関係してくるばね下重量を軽減し、クルマの運動性能をぐっと機敏にします。しかもデザインもシャープで精悍にしました。逞しいフットワークをもったシティにふさわしい、ニューデザインのホイールです。 (OPTION)

シティのいちばんライヴな遊び友だちです。
 トランクをガレージにってしまった、
 モトコンポは、^{トランクバイク}トラバイ。

モトコンポ



バイクもクルマにコンポーネントする時代です。シティのための、モトコンポ。いつだって走り出せるよう、外出時にはトランクに待機させておくことが基本。目的地に着けばすぐさまパトタッチして、360°自在にネットワークできるのです。これぞCAR-SET IN!

ライヴに遊べるトラバイ(Trunk Bike)
 小さい120センチバイク。

正確には、長さ118.5cm。国産市販車の中では、最も小さいトランクサイズです。持ち運びがてき、横にも積める初めてのバイク。これぞCAR-SET IN。専用ベルト^{OPTION}で固定できます。

■ハンドルを起し、ミラーを合わせ、ステップを出す。そしてシートを上げガソリンを入れれば、即スタートOK。簡単に組み立てられます。デザインもグッドで、部屋をガレージにできます。
 ■パワーある2.5馬力2サイクルエンジンやCDI点火方式など、本格メカ。



ヘルメットは必ず正しくお取り扱い下さい。

安全で快適なカーライフのために。ホンダからのお知らせです。

■安全運転のために

- 交通法規を守り、安全運転を心がけてください。心に余裕をもって運転されることが大切です。
- 高速道路をはじめ、一般走行でも必ずシートベルトを着用しましょう。同乗者にもシートベルトをお願いします。
- やむをえない場合以外は、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの操作はさげましょう。車の寿命を縮めるもととなり、また経済性、安全性からも好ましくありません。

■保証期間

新車を登録した日から1年間です。また、ホンダがとくに指定した※ご愛用のさいは、取り扱い説明書、整備手帳(保証書)をよくごらんいただきますようお願いいたします。

部品は2年間で、いずれも期間保証です。なお保証内容については、販売店を通じ、保証書をお確かめください。

■定期点検をどうぞ

- 車かいつも安全快適であるために、ホンダ指定の初回点検(点検料無料)および定期点検・作業点検が必要です。
- 定期点検とは、6ヵ月点検、12ヵ月点検、24ヵ月点検、2年に1回(自家用)行なう車両検査です。販売店、ホンダSFでどうぞ。
- 作業点検とは、乗車する前にお客様ご自身で行なう簡単な点検です。たとえば、エンジンオイル量のチェック、タイヤ空気圧のチェック、ブレーキの効き具合のチェック、ライト類の点灯確認などで、

■純正部品・オイル

車の性能、機能を維持するために、最もふさわしいホンダ純正部品・オイルをお使いください。

■燃費を良くするために

- 運転はスムーズに。急加速など「急」のつくことはさげましょう。車速に適したギヤを選んで走りましょう。
- 点検・整備を徹底し、つねに最良の状態に。タイヤ空気圧を適正にしましょう。

■安心してカーライフのために

- 自賠責保険だけでなく、十分な任意保険に加入しましょう。

HONDA SF

全国210余ヵ所のサービスネット。あなたのご近所にあります。SFとはホンダ直系でホンダ製品の点検・整備を専門にお引き受けするサービスファクトリーのこと。ホンダの生産工場とつかわれた高い技術と優れた設備を使用して、整備完了車は新車と同様の的確な完成検査を行なっています。しかも整備箇所について3ヵ月または3,000kmの保証をする「整備保証」の制度も実施しています。全国ネットですから、どこでもご利用でき、遠くへお出かけのさいも安心です。

SF訪問サービス

お忙しい方の手をわずらわせない訪問サービス。ホンダSFのベテランサービスマンが、お客様のご希望の日時、場所に、サービスカーでお訪ねし、その場所でお車の点検、整備、調整をするシステム。いわばお車のホームドクターです。貴重な時間のロスありません。また路上故障などの場合には、呼び出しサービスの制度もあります。詳細はお近くの販売店、もしくはホンダSFへお問い合わせください。

HONDA SR

お気軽にお越しください。ホンダとの触れあいの場所。四輪車、二輪車、発電機、船外機などホンダが誇る新製品を一堂に展示してある、素敵なおしゃれなショールームです。お客様が自由に見て、触れて、感じていただける場所になっています。自動車用品のショッピングコーナーもあります。ぜひ一度お立ち寄りください。
 ホンダSR仙台 仙台市土樋1-11-2 TEL 0222(62)6377
 ホンダSR東京 東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL 03(407)9231
 ホンダSR名古屋 名古屋市中区千代田1-7-2 TEL 052(264)0040
 ホンダSR大阪 大阪市北区南船場7-31 TEL 06(361)7151
 ホンダSR福岡 福岡市博多区紙園町8-7 TEL 092(271)5191

ムリな運転はやめてガソリンを大切に。■シートベルトを締めましょう。

東京都世田谷区赤堤2丁目43番17号
ホンダスリーエイト
 TEL 03-325-8887